



日音だより

令和4年度 2月号
日本音楽学校幼稚園
園長 関 幸治

【卒業公演に向けて頑張っています】

日本音楽高等学校の3年生が毎年卒業公演を行っています。今年は2月4日（土）です。この公演には、幼稚園の代表としてばら組の子どもたちが出演します。舞台と一緒に立つのは、幼児教育コースのお姉さんです。実習で子どもたちと触れ合ったり、運動会に協力してくれたり、いろいろお世話になったお姉さんたちです。子どもたちは一生懸命練習しています。楽しく元気に、そして、みんなで卒業をお祝いできたらと思っています。



【餅つきをしました】

1月25日（水）にまつ組の子どもたちが餅つきをしました。家庭教育学級で企画されたものです。これに先立ち、前の週から家庭教育学級の担当役員さんが臼と杵の準備をしてくれました。大小2つの臼、大人用の杵と子ども用の杵を倉庫から出してくれました。その後、寒い中を臼と杵を洗い、毎日お湯を張って臼の灰汁取りをしてこの日を迎えました。



気温が低く、園庭には厚さ1cmの氷が張っていてとても寒い朝でしたが、子どもたちは元気いっぱい杵を握りお餅をつきました。高校の松本副校長先生が介添えをしてくださり、子どもたちははにこにこ顔でした。その後つきあがったお餅は、お手伝いの役員さんが鏡餅にくださり、年少・年中・年長の部屋に持っていきました。お土産にお餅をいただき、「今日のお昼は、お雑煮だ。」と嬉しそうに話していた子どももいました。本来であれば、すべての子どもたちに経験させたいところですが、コロナ禍ということでこのような形になっています。古くからの行事が年々少なくなっている今、子どもたちに少しでも体験させることはとても大切だと思います。担当の皆様、保護者の皆様寒い中、ありがとうございました。



はやいはやい・・・

1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」といいますが、この1か月の時の経つのはとても速いと感じました。10日から始まり3週間、気が付けばもう2月です。

園では進級に向けて少しずつシフトチェンジをしています。今まで器楽指導を受けるのは「まつ組」の子どもたちでしたが、「ばら組」の子どもたちに替わりました。来年度の運動会の鼓笛

や遊戯会に向けての下準備が始動しています。また、「すみれ組」の子どもたちも講師の先生から指導を受けるようになってきます。担任との関係から少しずつ飛び出し、経験を積んでいきます。英語指導もそろそろ受けるように準備していきます。

「まつ組」の子どもたちは卒園アルバム作りや卒園に向けての行事の準備が始まります。時が逃げないように、充実した日々を送らせたいと思っています。



2月 指導のねらい

すみれ組

○友達と遊んだり、話をしたり歌ったりすることを喜び、一緒に活動しようとする。

ばら組

○友達と一緒にルールのある遊びを楽しむようにする。

まつ組

○クラスのみなどと目的や願いを共有し、協力してやり遂げようとする。



講師による指導（2月）

器楽指導	渡辺 正明先生	ばら組
英語指導	安本えつ子先生	ばら組 まつ組
	外国人講師	ばら組 まつ組
体育指導	櫻井 由香先生	ばら組
	松本 幸浩先生	まつ組

○お知らせ

- ・「お別れ遠足」(まつ組) 10日(金)に行います。上野動物園を予定しています。大井町駅集合で、京浜東北線で上野まで行きます。詳細は改めてお知らせします。
- ・「買い物ごっこ」(まつ組)13日(月)に行います。保護者の会の役員の皆様にご協力いただき園内で実施します。
- ・「小学校との交流」(まつ組)15日(水)に行います。宮前小学校の2年生との交流です。小学校生活を短時間ですが入学前に経験してもらおうと思っています。

日音の二十四節気……如月(きさらぎ)……

如月は、寒さで着物を何枚も重ねて着ることから、「着更着(きさらぎ)」とする説が有力とされています。また、気候が陽気になる季節から「気更来」「息更来」(きさらぎ)、草木が生え始める月で「生更木」草木の芽が張り出す時期で「草木張り月(くさきはりつき)」が転じたという説もあるそうです。

立春(4日)……暦の上では春の始まりであり、1年の始まりとされる大事な日

雨水(19日)……雪が雨に変わり雪が解け始める時期

立春の前日が「節分」です。豆まきをして鬼を追い出したり、恵方巻を食べたいなどなじみの深い行事があります。季節の変わり目には邪気(鬼)が忍び込んでくるとされ、豆まきなどの儀式で邪気(鬼)を追い払い、無病息災を願います。もともとは、立春・立夏・立秋・立冬の前日が「節分」でしたが、今は立春の前日が節分となりました。